

教員公募要項

山形大学農学部

件名	山形大学 学術研究院（農学部食料生命環境学科主担当）（准教授または助教）募集	
機関名	国立大学法人 山形大学	
機関 URL	https://www.yamagata-u.ac.jp/	
部署名	農学部	
部署 URL	https://www.tr.yamagata-u.ac.jp/	
公募の URL	https://www.tr.yamagata-u.ac.jp/koubo.html	
募集職種	准教授または助教	
勤務形態	常勤	
募集人数	1人	
募集分野	分子機能化学分野	
所属先	学術研究院（農学部食料生命環境学科バイオサイエンスコース [※] 主担当） [※] バイオサイエンスコース：植物や微生物、高等動物など多様な生物を対象とし、これらがもつ生理機能の解明、有用機能の探索・改良など、広範囲の領域を基礎から応用まで学びます。 https://www.tr.yamagata-u.ac.jp/course_bio_science.html	
業務	業務内容	大学における教育・研究及び大学運営に関連するもの。
	担当授業	バイオサイエンスコースに関わる講義科目（基礎有機化学などの分担）、コース実験実習、基盤共通教育科目（分担）、特論・専門演習（大学院）など
	研究分野	〔大分野〕 農学 〔小分野〕 農芸化学
勤務地	山形大学農学部 〒997-8555 山形県鶴岡市若葉町1-23	
応募資格	(1)国立大学法人山形大学鶴岡キャンパス教員選考基準の第3条（准教授の場合）または第5条（助教の資格）を満たしている者。（山形大学農学部ホームページ、「山形大学鶴岡キャンパス教員選考基準」参照、URL: https://www.tr.yamagata-u.ac.jp/pdf/kyouin-senkoukijun.pdf ） (2)博士の学位を有する者。着任時までに学位を取得見込みの者。 (3)応用生命科学および農芸化学の観点から、植物や微生物などを対象とした研究において、有機化学（計算化学を含む）、天然物化学、生合成、生理活性の評価、ケミカルバイオロジー、ゲノムマイニングなどの分野で顕著な業績を有し、かつ、学生の教育・研究活動を積極的に推進し、展開できる者。加えて、当該分野に関する地域と連携した研究やプロジェクトにも積極的に取り組むとともに、その他の学内業務等にも積極的に取り組むことができる者。 (4)本人の専門分野に関して、英語で講義を担当でき、教育研究における国際交流活動に前向きに取り組める者。	
待遇	(1)国立大学法人山形大学年俸制（Ⅱ）適用職員給与規程によります。 (2)採用時からテニュアトラック期間（5年）満了時までに学内規定に基づくテニュア審査が行われ、可とされた場合にテニュアが付与されるテニュアトラック制度が適用されます。 (3)人事給与制度の内容は、本学ホームページで公表しております。（ https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/recruitment/20201105/ ）	
募集期間	2025年1月31日（金）まで（必着）	
着任時期	2025年9月1日以降できるだけ早い時期	
応募書類	(1)履歴書（教員候補者個人調書）様式は公募URLから取得 (2)研究業績書 様式は公募URLから取得 (3)学位記（博士）のコピー、または学位取得見込みであることを証明する書類 (4)過去5年間（2020年1月～）の業績（原著論文、著書）の別刷り (5)主要な論文（3編以内）の概要（各200字程度）様式自由 (6)教育に関する実績と抱負（1,000字程度）様式自由 (7)研究に関する実績（外部資金の獲得状況などを含む）と抱負（1,200字程度）様式自由 (8)社会貢献に関する実績（学会活動、地域・国際貢献活動など）と抱負（1,000字程度）様式自由 (9)組織内業務と管理・運営などの実績と抱負（1,000字程度）様式自由 (10)応募者について照会が可能な方2名の氏名と連絡先 様式自由	
その他	(1)応募書類の(1)～(10)をひとつのPDFファイルにまとめ、パスワードを設定の上、下記問合先のメールアドレスに添付して下さい。パスワードの連絡方法については応募者に任せます。容量が大きい場合はファイルを分割するなど、ファイル送信サービスをご利用ください。著書をPDFファイルにまとめることが困難な場合は、当該著書の別途郵送を認めます。（他の応募方法を希望される場合は、問合わせ先にご相談ください） (2)応募書類に含まれる個人情報、本選考及び採用業務に限定して利用します。 (3)選考経過に関する問い合わせには応じることができません。 (4)この公募は、男女雇用機会均等法の第8条に定められた「女性労働者に係る措置に関する特例」を踏まえた教員募集です。業績（研究、教育、社会貢献等）及び人物の評価において優劣をつけたいと認められた場合には女性を採用します。 (5)書類が到着した際に、応募者に受取確認のメールをお送りします。応募書類の送付から3日を経過しても確認メールが届かない場合、以下の問合先までご連絡ください。	
選考方法	(1)第1次選考：応募書類により総合的に選考を行います。 (2)第2次選考：第1次選考（書類選考）の合格者に対し、プレゼンテーション（模擬講義を含む）及び面接を実施し適任者の選考を行います。ただし、来学いただく場合の旅費は支給しません。	
問合先	住所	〒997-8555 鶴岡市若葉町1-23 山形大学農学部
	宛先	分子機能化学分野 教員選考委員会委員長 塩野義人
	メール	yu-nousenkou@jm.kj.yamagata-u.ac.jp
	電話	0235-28-2807（農学部総務課総務担当）
	F A X	0235-28-2812（総務担当）

履歴書（教員候補者個人調書）

山形大学農学部

ふりがな	やまだ たろう			(顔写真) 自身の上半身画像データをこの枠内に取り込みPDFを作成してください。
氏名 (英語表記)	山田 太郎 YAMADA, Taro			
性別	男・女			
生年月日(年齢)	昭和〇〇年〇〇月〇〇日 (〇〇歳)			
現住所				
連絡先メールアドレス				
連絡先電話番号				
教育研究分野 (英語表記)	植物園芸学 Horticulture			
教育研究分野の内容 (英語表記)	病害抵抗性育種に関する理論と応用 Theoretical and applied studies on plant breeding for disease resistance			
学 歴				
平成△△年□□月	〇〇大学〇〇学部〇〇学科入学			
平成△△年□□月	〇〇大学〇〇学部〇〇学科卒業・学士(農学)			
平成△△年□□月	〇〇大学大学院〇〇研究科修士課程(博士前期課程)〇〇専攻入学			
平成△△年□□月	〇〇大学大学院〇〇研究科修士課程(博士前期課程)修了・修士(農学)			
平成△△年□□月	〇〇大学大学院〇〇研究科博士課程(博士後期課程)〇〇専攻入学			
平成△△年□□月	〇〇大学大学院〇〇研究科博士課程(博士後期課程)修了 (又は単位修得退学)			
学 位				
年月	学位の種類	取得大学名	学位論文の題名	
平成△△年□□月	博士(農学)	〇〇大学に関する研究	
職 歴 (研究歴を含む)				
平成△△年□□月	〇〇大学〇〇学部 研究生(平成△△年□□月まで)			
平成△△年□□月	株式会社〇〇産業〇〇研究所 入社			
平成△△年□□月	株式会社〇〇産業〇〇研究所 退社			
平成△△年□□月	学校法人〇〇大学〇〇学部助手 採用			
平成△△年□□月	学校法人〇〇大学〇〇学部助手 退職			
平成△△年□□月	〇〇大学 講師 〇〇学部			
平成△△年□□月	〇〇大学 准教授 〇〇学部			

学 会 及 び 社 会 に お け る 活 動 等	
平成△△年□□月	〇〇学会会員
平成△△年□□月	◇◇学会会員
平成△△年□□月	〇〇学会評議員(平成〇年〇月まで)
平成△△年□□月	△△国際シンポジウム研究発表(ワシントン)
平成△△年□□月	□□県△△審議会委員(平成〇年〇月まで)
免 許 資 格 等	
平成△△年□□月〇〇日	高等学校教諭(1種免許状)理科
平成△△年□□月〇〇日	測量士補
平成△△年□□月〇〇日	食品衛生管理者
平成△△年□□月〇〇日	大型特殊自動車運転免許
平成△△年□□月〇〇日	第Ⅰ種放射線取扱主任者
賞 罰	
平成△△年□□月〇〇日	日本〇〇学会〇〇賞「〇〇に関する研究」
平成△△年□□月〇〇日	日本〇〇学会〇〇賞「〇〇に関する研究」
教 育 研 究 業 績	
	別紙記載のとおり

研究業績書

氏名 山田太郎

研 究 の 業 績	
1 著書	<p>山田太郎 19〇〇(平成〇〇年)</p> <p>1) ……の基礎理論 〇〇堂, 130 ページ</p> <p>山田太郎 19〇〇(平成〇〇年)</p> <p>2) ……について 高橋二郎編: ……に関する研究 〇〇書院, 第3章 111-132</p>
2 学術論文	<p>a 博士論文</p> <p>1) 山田太郎. 19〇〇(昭和〇〇年) ……に関する研究 〇〇大学(農学博士)</p> <p>b 原著論文</p> <p><u>山田太郎</u>. 19〇〇(昭和〇〇年)</p> <p>1) ……に関する研究, 〇〇学会誌, 〇巻:123-130, 【査読有り】</p> <p>山田二郎・庄内三郎・<u>山田太郎</u>. 19〇〇(平成〇〇年)</p> <p>2) ……に関する研究, 〇〇大学農学部報告, 〇巻:123-130, 【査読なし】</p> <p>YAMADA, J., YAMAGATA, U. and <u>YAMADA, T.</u> 19〇〇(平成〇〇年)</p> <p>3) Studies on the …… Journal of Japanese ……Sciences, Vol.〇:123-130, 【査読有り】【Corresponding author】</p> <p>YAMADA, J., <u>YAMADA, T.</u> and YAMAGATA, U. 20〇〇(平成〇〇年)</p> <p>4) Effect of …… Journal of Experimental ……Sciences, Vol.〇:222-234, 【査読有り】【Equal contribution】</p> <p>5)</p>
3 総説	<p>山田太郎 19〇〇(平成〇〇年)</p> <p>1) ……の展望. 〇〇学会誌, 〇巻:123-130.</p>
4 学会賞	<p>山田太郎 19〇〇(平成〇〇年)</p> <p>1) ……に関する研究. 〇〇学会賞(平成〇〇年〇〇月〇〇日)</p>
5 特許	<p>山田太郎 19〇〇(平成〇〇年)</p> <p>1) ……の作出法 出願番号:〇〇〇〇(平成〇〇年〇〇月〇〇日) 登録番号:〇〇〇〇(平成〇〇年〇〇月〇〇日)</p>
6 品種登録	<p>山田太郎 19〇〇(平成〇〇年)</p> <p>1) 種類:稲, 登録品種の名称:〇〇〇〇 登録番号:〇〇〇〇(平成〇〇年〇〇月〇〇日)</p>

7 その他の著作物		
山田太郎. 20〇〇(平成〇〇年) 1) ……に関する調査報告 〇〇大学附属〇〇報告, 〇巻: 123-130 山田太郎. 20〇〇(平成〇〇年) 2) ……に関する新発見 〇〇新聞(平成〇〇年〇〇月〇〇日)		
研 究 業 績 概 要		
1	著 書	編 (うち最近5年 編)
2	学 術 論 文	編 (うち最近5年 編)
3	総 説	編 (うち最近5年 編)
4	学 会 賞	件 (うち最近5年 件)
5	特 許	件 (うち最近5年 件)
6	品 種 登 録	件 (うち最近5年 件)
7	そ の 他 の 著 作 物	編 (うち最近5年 編)

記載上の留意点

- 古いものから順に列挙する。
- 通し番号、著者(共著者含め)、発表年、論文題目、掲載誌、巻(号)ページの順に記載し、本人の氏名に必ずアンダーラインを付すこと。また、原著論文は査読の有無を【】書きで示し、併せて連絡先著者【Corresponding author】、筆頭著者同等貢献者【Equal contribution】の場合には、その旨を【】書きで示すこと。
- 年号はすべて、「20□□(平成△△)年」と記載する。
- 著者名あるいは編者名は10名まで(それ以上は、et al.又は他を付ける)記載する。
 欧文の場合は以下の要領により記載する。
 YAMADA, J., YAMAGATA, U. and YAMADA, T.
- 著書分担執筆等の場合には、担当ページを含め以下の要領により記載する。
 博友社、99-121。
 また、発行機関誌名等は、略称名を用いないで記載し、巻(号)、頁も加え、以下の要領により記載する。
 Tetrahedron Letters, 42, 7439-7442.
- 学会発表の講演要旨、科学研究費補助金報告書は、学术论文やその他に記載しない。